

グループインタビューの実施について

1. 目 的

豊岡市障害者計画の策定にあたり、障害児・者の福祉を取り巻く環境の変化を踏まえ、当事者及び家族・支援者等が感じている課題など直接意見を聞き、それらを重視した障害者計画の策定と推進につとめるとともに、施策への住民参画のひとつとして実施します。

2. 実施内容

- ①方 法
- ・各グループ 1 回
 - ・ 1 グループ 10 名程度
 - ・ 1 回、1 時間半程度
 - ・ 進行役は、策定委員などグループインタビューに通じている人を選任します。
 - ・ 現行計画の基本目標、施策を全体で共有し、自由に意見交換していただきます。
 - ・ ホワイトボード等で意見を板書し、整理を行います。

②グループ分け

	グループ	参加者
A	肢体障害・内部障害者	障害者本人、家族、支援者等
B	視覚障害者	障害者本人、家族、支援者等
C	聴覚障害者	障害者本人、家族、支援者等
D	知的障害者	障害者本人、家族、支援者等
E	発達障害者	障害者本人、家族、支援者等
F	精神障害者	障害者本人、家族、支援者等
G	重症心身障害者	障害者本人、家族、支援者等
H	障害児等	障害者本人、家族、支援者等

- ・ 参加者選出について
 - ア) 身体障害者福祉協会、各作業所、保護者会等と調整します。
 - イ) これまで市障害者福祉計画などで市と関係を持っている方だけではなく、可能な限り新しい方（若年層で）も選出していきます。
 - ウ) インタビューの活性化をねらい（意見が言い易い環境に配慮し）、障害種別の既存の集まりや活動の機会を生かします。

3. 実施時期等

第 1 回策定委員会（6 月 6 日）後の 6 月～8 月に実施することとします。

4. 進行内容

- ・ 日常生活の中で、障害者本人及び家族が抱える課題、問題点を出し合い、意見を聞く。
- ・ 課題や問題を解決するためのアイデアなどを把握整理する。

タイムスケジュール

所要時間	内 容
15分	イントロダクション・情報提供 ・趣旨の説明 ・自己紹介（必要に応じて） ・インタビューの進め方について ・障害者を取り巻く現状について
60分	グループインタビュー ・計画の基本目標を踏まえて、障害者本人や家族が抱える課題や問題点を抽出する ・課題解決に向けた取り組みの検討 ・取り組みの整理
15分	まとめ ・全員での感想（意見交換を再度共有する）

障害者基本計画基本目標（平成24～28年度）【参考】

基本目標	施 策
「自己実現できる」まちづくり	教育の充実
	雇用・就労の促進
	社会参加・生きがいづくり
「人と人とが支え合う」まちづくり	広報・啓発
	人材育成・確保
	ネットワークづくりの推進
「いつでもどこでも相談できる」まちづくり	相談体制・情報提供の充実
	障害の早期発見・早期対応
	権利擁護の推進
「地域で生活できる」まちづくり	保健・医療の充実
	精神保健施策の推進
	生活支援の充実
	家族等介護者の支援
「安全で安心して暮らせる」まちづくり	福祉のまちづくり
	防犯・防災施策の促進

5. グループインタビュー参加者の選出方法等

A 肢体障害・内部障害者

- ・身体障害者福祉協会に参加者（本人、家族等）の推薦を依頼します。

B 視覚障害者

- ・視覚障害者福祉協会 委員の大垣氏に参加者の推薦を依頼します。
- ・支援者として、同行援護等を実施している事業所のヘルパーに依頼します。

C 聴覚障害者

- ・たじま聴覚障害者センターに参加者の推薦を依頼します。
- ・支援者として、市に登録している手話通訳者、要約筆記者に依頼します。

D 知的障害者

- ・くすの木学級（市生涯学習課）に参加者の推薦を依頼します。
- ・いつも通所されている施設で実施します。
（施設に事前に説明、依頼（日時、参加者）しておき実施します。）

E 発達障害者

- ・地域活動支援センターの～らに参加者の推薦を依頼します。
- ・いつも通所されている地域活動支援センターの～ら内で実施します。

F 精神障害者

- ・生活支援センターほおずき、てっせんの会作業所、ざくろ作業所及び就労継続支援 B 型事業所のロマンハウスに参加者の推薦を依頼します。
- ・会場 1 ヶ所に集まってもらい実施します。

G 重症心身障害者

- ・北但広域療育センターに参加者の推薦を依頼します。
- ・いつも通所されている北但広域療育センター内で実施します。

H 障害児等

- ・北但広域療育センターに参加者の推薦を依頼します。
- ・いつも通所されている北但広域療育センター内で実施します。
（センター、保護者会に事前に説明、依頼（日時、参加者）しておき実施します。）